

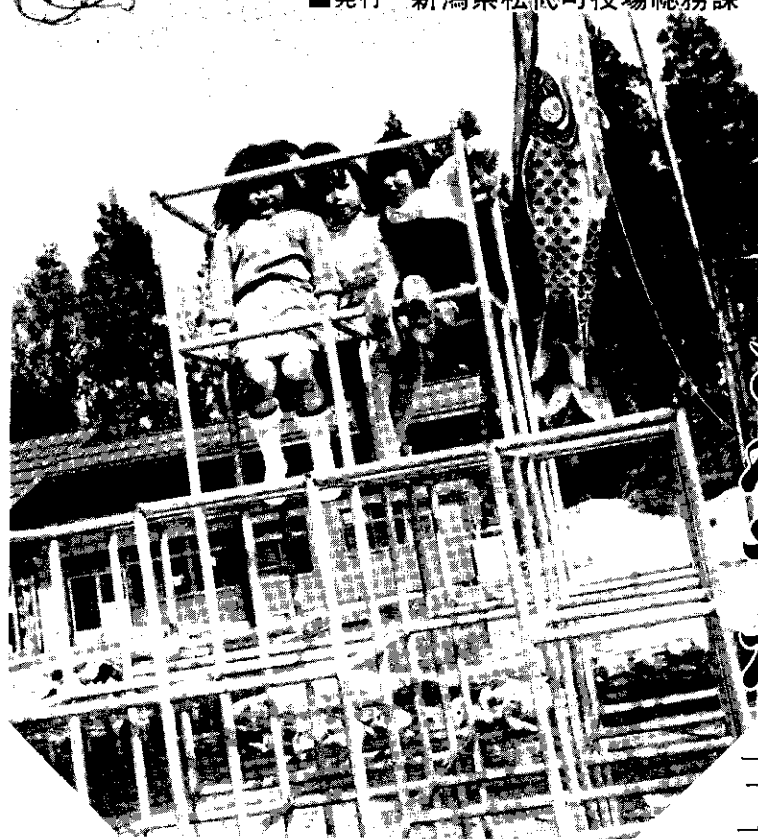
広報

まっだい

1986/5月

第318号

■発行 新潟県松代町役場総務課 電話 松代7-2220番 昭和61年5月26日



さわやか、五月晴れ



《人口の動き》 男2,942(-18) 女2,974(-1) 計5,916(-19) 世帯数1,655(+5)
4月末日現在 出生4 死亡2 転入27 転出48

「明日を拓く自然と人のふれあいの町」

「松代町総合計画、改訂終わる」

町の木 プナ

基本構想(つづき)

三、活かそう地域の特性

戦後、大都市への人口集中を伴いながら都市は著しく発展した。その結果過密化が生じ生活生産活動の機能が低下状態に陥り、その一方農村から都市への急激な人口移動等により産業構造に大きな変化を生み農村に過疎化をもたらしたものである。

しかし、交通網の著しい発達などから人々の生活行動圏域の拡大、更には価値観のとらえ方から除々に農村社会が見直されてきた。特に二十一世紀の農村社会は大きく変貌し、文化が栄え、コミュニティが充実し、都市圏域との交流が活発化されるといわれている。いわゆる都市と農村の融合と補完化が進み、それぞれの地域の特性に応じた各層の新たなライフスタイルが求められ、都市から農村へ移り住む人々の出現、つまり都市に満たされない様々なニーズを受け持つ農村社会に、セカンドハウス、セカンドスクールなど多様な形態で農村との接点を求めてくる傾向がますます強まろうとしている。

このような様々な側面から、松代町に進出した早稲田大学と連携した地域開発をすすめ、学

生の訪れる町づくり、更に文化人を対象とした学者村(別荘地)づくりを推進する。

また、地区青年達が自発的に活動を開始している地域おこしの事業を支援し、更に拡大推進にあたる。

第三次産業の開発としては、住民から要望のある温泉源を活用した施設など、例えば第三セクター方式で運営する温泉プール付のリハビリ施設や松代の四季を味わうふるさと会館などの整備を図り、北越急行開業に合わせて誘客運動を展開する。これらの事業推進に当っては、観光開発公社などを設置して地域の特性を活かした開発をすすめるものとする。

四、自然の中に工夫を盛り込んだ観光

まず十年後を想定してみよう。都会の雑踏の中で働く若者は巨大化した企業の一枚の歯車にすぎず、人間のふれあいの場がなくなる一方、週休二日制の完全実施がなされ、脱都会型人間を取りもどす場としてのふるさと志向ムードは頂点に達するだろう。

このようなことから今の松代町の現実をとらえて人間回帰のための資源を探ってみよう。これからの観光の条件は都会に

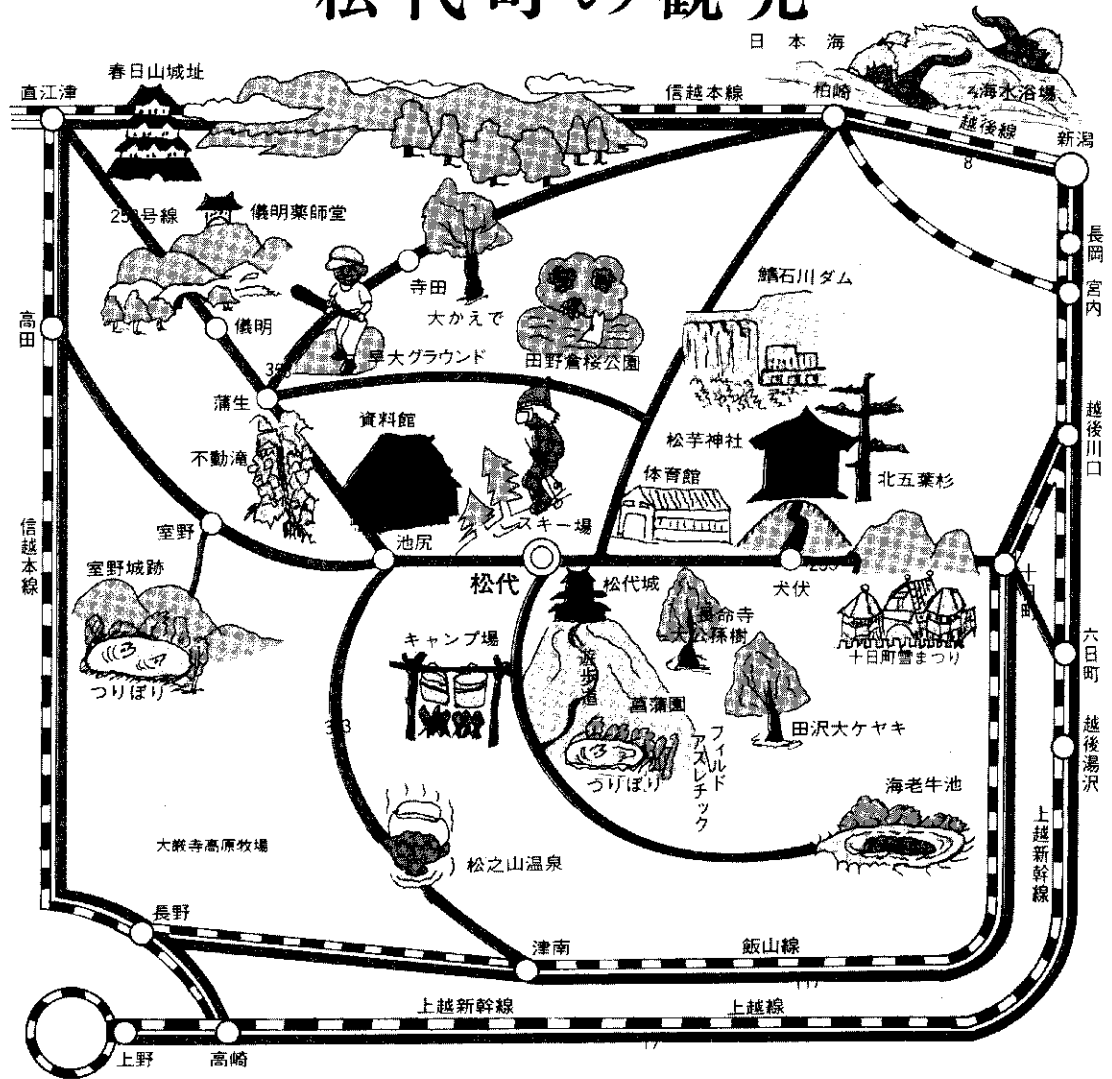
時間的に近く、特色を持つ人情味溢れる田舎というものがクローズアップされてくるだろう。時間的な面については関越道の開通と北越北線の開通で文句なしにパスする。北越北線の開通による効果をより大きくするため、周辺の整備を計画的に実施する。幸い周辺整備の土台としては県下稀れにみる施設を誇る総合体育館、町の中心を眺望する松代城があり、これを核として整備を図る。

もう一方の核としては早稲田大学の校外施設を誘致し、開設以来学生の訪れる町として新聞にも紹介されている所であるが、今後は早稲田大学からの開発を待つばかりでなく、行政と民間が一体となって本計画中に豊かな自然をフルに活用した付随施設の整備を図る。

これからの観光は必ずしも温泉が絶対的地位を占めるものではないが、温泉も重要な役割を占めるのは確かなことであり、また過去の実績から見て湯の出る可能性は高い。

本計画期間中に温泉の掘さくを進めるなど、定住促進はもとより、これからは観光による過疎対策の一環として取り組み隣接市町村を結ぶ観光のネットワーク化を図る。

松代町の観光

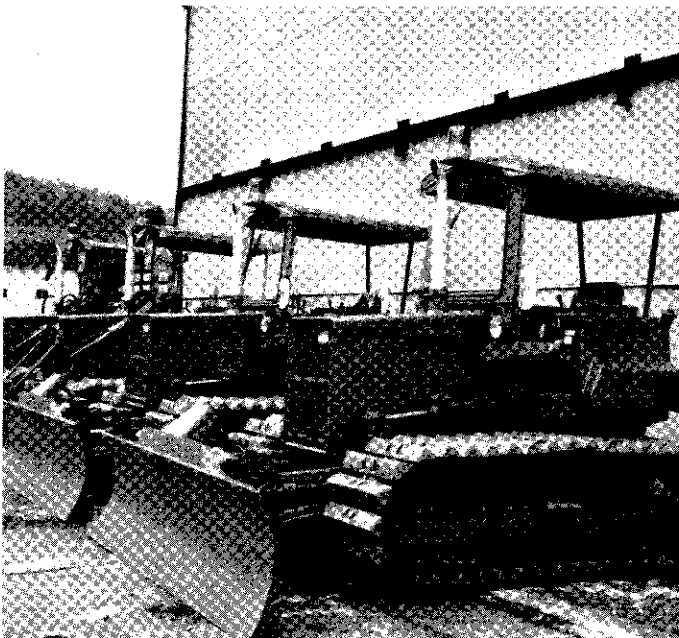


五、雪に挑戦、そして克服へ
松代町は、有史以来雪と共に歩んできた。先人達はある時は雪を活用した天水田で生産活動に勤しみ、またある時は人命を

も奪う豪雪災害に遭遇してきた。それは永い地球の営みを通じて形成されたもので、この自然的条件は二十一世紀においても基本的に現在と変わることがな

いであろう。
しかし、昭和四十年代後半から現在に至るこの間の道路除雪は、除雪機械の進歩に伴って無雪化が着々と進んだ。昭和六十

屋根雪除雪に威力発揮



年代の道路は更に高速除雪化され、全町を無雪化実現に向けて進んでいく。また住宅にあっては、エネルギー源の活用や各種工法を取り入れた無雪型住宅の普及整備が急がれる。
この様なライフスタイルの変化や価値観などから雪国の生活は「克雪・利雪・和雪・親雪」など、これらの対応が強く求められている。よって、このような経緯と現状をふまえて、これからの推進にあたっては、きめ細かな様々の各種条例の制定や補助事業の導入などの施策を押し進めていかなければならない。

これら「雪の克服」こそ、松代町では「過疎脱却」と高齢化社会へ対処する唯一の方策である。また雪への楽しさ、すばらしさを求める都会との交流を深め、雪国を体験できる各種のイベントを行い、新しい利雪方法を見出し、雪の中から所得の向上拡大を図っていくものとする。
この様に雪国の居住環境の整備を進めていく上で、地域住民の積極的な参加を促し、共通の認識と理解に立つて緊密な連携のもと、健康で明るい雪国の「松芋の里づくり」を進めるものとする。
(以下次号へ)



今年の成人式は5月3日、遅く成人した85名の新成人を迎え、町総合センターで行われました。

式典には、秋山町長、中村町議会議長、松縄教育振興会長、島田教育長より、お祝いの言葉があり、新成人を代表して、柳正春さん（千年）が、「これから、一社会人としての自覚と責任を背負い、私たちの前に立ちふさがる様々な問題に対して若い力で乗り越えていくことを決意します。」と誓いの言葉がありました。

式典後は、記念撮影が行われ、その後、テーブルを囲んでの祝賀会では、現在の自分の状況などを紹介し合い、立派に成人したことを喜びあいました。



成人式のスナップ写真
希望者は町総合センタ
ーへ申込み下さい。

〆切 6月30日まで

成人



峠 横尾 堅一

五月三日、成人式を、むかえました。

しかし実際に二十歳の意識は、まだできませんが、社会的に開放されることによって、周囲からの影響は少し感じることが出来ます。

そして、社会的に、開放されたということは、逆に社会的な義務を、果たせるものと認められたということであり、その社会からの期待にそうように、これからの一日一日を大事にすることが大切だと思います。

社会の多量な情報や、めまぐるしく動き変わる世間に、まどわされ、混沌とした波の中に、落ちいりがちだった十代のころとは違い、二十歳の我々は、いつもいつも、こうしてはいられないと走り続け、いつも緊張感がつきまとうのが自然なくらい

が本当だと思います。
そして、その緊張感が二十歳のりっぱな顔と、精神をつくってくれます。
成人式に集まったみんなは、とてもいい顔をしていた。

成人式を
迎えて

福島 高橋 栄子

二十歳、早いものです。とうとう成人式をむかえるのが自分の番になったのですから……。一体いつの間に二十年過ぎてしまったのでしょうか。「二十歳」という年令にあらがれていた頃が思い出されます。「二十歳」というと「完全な大人」というイメージがありました。きつと二十歳になれば自分もそうなるんだと思っていたのですが……実際二十歳になってみて、どこか変わったところがあるでしょうか。全くどこも変わってないっていうのが事実のようです。こんなことではいけないのでしょうか。

「成人する」ということは、大人になったことを自覚し、自ら生き抜こうとすることとあります。確かに子供ではないので



すから、しっかりと自分の意志を持つことが必要と思います。「責任を持つ」ことにしてもまず自分の考えがしっかりしていなければ……。もう私は大人なのですから。

果してどの程度まで努力できるか不安ですけど、これから先新たな気分で頑張りたいと思います。



走れ!われらの北越北線

「早く完成してほしい北越北線」

北越北線シリーズ⑤ 柳 珠美さん(松代中学校三年生)

私はには理解できなかったみたいです。そして三人が転校したと同時に工事中止されてしまいました。

中学二年の二学期頃二人の間が転校してきました。私とはとても驚きました。それは四年前に転校した友達が戻ってきたからでした。今思えばあの時なぜ工事が中止されたのか三人の友達が転校したのか、そして松代に戻り再び工事をはじめたのかが分かります。

私は、また工事が再開するのとができてとても嬉しいです。なぜなら、もう工事が再開されることはないという諦めみたいな気持ちがあったからです。

北越北線が完成するのは十年後くらいと友達が言っていました。十年後の私は24歳。他の土地で働いてればきつとお盆や正月はこの電車に乗って帰ってくるのでしょうか。今、想像して見るだけで心はもう十年後にいつてみたいにわくわくします。

この松代に電車を通るということはすごいことだと思ってしまう。今、私の頭の中に大きな夢が広がります。高い建物大きな遊園地やお店や工場、もっと広いスキー地など造られれば人口が増えて増加するだろうし、そうなれば一層明るくてにぎや

かで素適な町になると思うんだけれどなあ。もちろん私は本当にそうなるってほしいことを願っています。

二年の社会で松代のことにについて少し勉強しました。そして北越北線の話ができました。先生から今まで知らなかったことを教えてもらい、いい勉強になりました。例えば、松代みたいな冬、雪の多い所では工場で作った品物をトラックで運ぶのに不便だが、電車ともなれば、そう難しいことではないし、輸送費が安くすみます。これは、なぜ北越北線が造られるようになったかの理由の内の一つです。そして最大の理由は、人口を増やすためです。近年、松代町は人口が減りつつあります。このままではもっと減ってしまうでしょう。そこへ北越北線の計画がたてられたことは大正解だと思います。十年後はきっと人口も増加していくでしょう。

北越北線が完成すれば、遠くにあつた六日町も身近に感じてください。普段あまり行くことのない市や町にも短時間で気軽に行けるし、友達と今までは十日町くらいしか一緒に行かなかったけど電車が通れば六日町まで行くこともできます。

私は一つ残念なことがあります。

す。それはなぜ十年前から北越北線の建設をしてくれなかったのか。ということ。私が生まれた年に建設を始めていけばきつと今頃は六日町にも何回となく友達と買い物や、遊びに行ったりしてるのになあ。と想像してしまいます。

でも今はやっぱり早く完成してほしいという願いだけです。十年後を楽しみに待ちながら毎日を過ごしていきたいです。

工事進捗状況

三月に発注された第二田沢トンネルは堀削前の準備段階であり、本格的な堀削工事は六月中旬下旬頃になる見込。

また、難工事の鍋立山トンネル工事は、残り六四九mのうち五月九日現在六九mの堀削で一日一・五mのペースで進んでいます。しかし、地質調査の結果今後地質が悪くなるため、更に難工事が予想されるそうです。

堀削機械カッターローダー
(鍋立山トンネル内)





一、はじめに

国・重要有形民俗文化財指定記念「越後縮資料展」が、十日町市博物館において去る四月十日より七月二十日迄開催されております。

この催では、日によって無形文化財に指定されている六日町在の老婦人による糸績ぎ・いざり機で縮布を織る実演コーナーもあります。

さて、江戸時代にも夏着物としての着心地の良さを唄われ、越後縮布は「松之山」と別称で呼ばれるほどに、わが郷土名(松代、松之山は松之山郷と総称されていきましたから)は知られていました。

それは、次のような長唄からも知られます。

へ越後がた、おくに名物さまぎまあれど(中略)末の松山(松之山)の白布の、縮みは肌のどこやらが、見えすく国の風流を……(以下略)」

と、越後縮布、上布の産地を代表して松之山が唄いたたえられていました。

二、古文書によると

慶長三年四月、越後の勇将、上杉景勝を会津へ移封した豊臣秀吉は、最も信頼する堀氏を越後に据えませんが、堀氏にあてた秀吉の朱印には、

(前文略)

一、五千石 御蔵入但越後布出所 同其廻

以上

(中略)

慶長三年卯月二日(秀吉)

羽柴久太郎とのへ

秀吉は堀氏に越後を与えても越後布の主産地、その範囲は白分のものだと主張しているのです。(参考、中沢肇氏「越後の青芋考」)さて、秀吉が越後布を産する

五千石分の地域は俺の直領だぞとした地域はどこだろうか。

松之山町松之山、村山政光氏所蔵文書に記述だてるものがありました。

慶長十二年十月十三日、松之山百姓中へ出された堀監物直政、花押のある文書がそれです。

この文書には、松之山の布と青芋の上納銀に

ついては、明家(つぶれてなくなった家の)分に銀子三百匁免除すると書かれています。

銀三百匁は当時の米、約十五石分に相当し、思いきった布、青芋産地の保護政策と考えられます。

ちなみに堀監物直政という人物は堀秀治の家老で、秀吉の腹心でもありました。それで秀吉は自分の領地の代官を兼ねさせたのです。堀監物文書がこの地から出るわけがそれです。

次に村山家文書の中には次の越後布に関係したものがありません。

堀家の内紛に乗じた徳川家康は堀氏を一举につぶして、六男松平忠輝に慶長十五年以降越後を支配させます。

忠輝に付けられた五人の奉行の連署状ですが、村山家のこの文書を私は忠輝文書といっています。

「松之山は近年くたびれたようである。そのような訴えがあるが、堀氏支配の時と同じ年貢にしておくから、余裕をみつめて荒地を起し、生業がなりたつようはげみ、布、青芋づくりに努めて、年貢分を果したら余分は自由に売ってよろしい。松之山は山の中で、何者か無理難題をふっかけるものがあつたら、府中へき

て訴えなさい。解決してやる。」と書かれています。

連署の五人の奉行も大者ぞろいである。佐渡金山奉行を兼ねた大久保長安の名もあります。

ともあれ、近世初期、その前代上杉氏から引継いだ諸大名は、

白布、青芋の産地としてわが郷土を重視していた資料が残っているということだ。

と同時に、この時代のこれら資料から伺えるのは、わが郷土が単に地方的視野ばかりでなく、日本史的視野でみて、名をなし、誇りある地であつたと考えて過言でないように思います。

三、更に古文書から伺う。

さきに紹介した松之山の村山家文書は松代町史を作成する場合、近世初期の記述に欠かすことのできぬ、一級資料です。

実は、松之山、松代両町では前述の資料に続く時代の資料がないが、どちらのお宅にあるだろうか、随分興味がありました。

大字松代の古文書が出てきて当然と思われるお宅からは、今、望みはありません。

昭和四十八年に実施した松代、松之山総合調査(県)の古文書班は、池ノ畑、市川、郎氏蔵文書に、安永四年写シですが文禄三年秀吉の命による上杉景勝時代の検地高とみられる資料。

延宝九年(実改元、元和二年)の小屋丸村、高棟付萬御改指上帳に青芋高、白布高、地高や、課税、本家名、村の様子などが伺える資料を発見したが、越後白布、青芋に關した資料がもつと欲しい。

欲を云えば元禄時代より前、高田の越後中將家松平光長時代の郷土資料がないものかと思つて調べて参りましたが、遂に一つ発見しました。

大字蒲生、屋号加宿。小界哲大氏蔵の古文書の一部を拝見しているうちに、

「寛永二十一年二月吉日 松山之内 北山高帳」というのがありました。

寛永のこの年は年表では改元されて正保元年になっています。三代將軍家光の時代で高田の城主は前記光長時代のもので、この北山高帳には、現松代町の大字の三百四十数年前の各惣高、白布高、青芋高がしつかり記載されています。越後布の里わが郷土の資料は思いがけずにまだ出る可能性があります。

◆お知らせ◆

●町史自然編各調査班全体会

五月二十八日。於、役場

●町史歴史編各調査班全体会

五月三十日。於、役場

歯のおはなし

健康体力

シリーズ ⑭

乳幼児の歯は、乳歯・永久歯を問わず大切なものです。とくに乳幼児期では歯は心身の發育をうながす重要な役目をもっています。

たとえば、食べ物をやわらかくかみくだくとか、永久歯が正しくはえる時期と場所の目印になる、正しい発音をするのを助ける、顔の形をととのえ、顔の調和のとれた發育を助ける——などの役目をしています。

食物をかむことは、あごの運動を通して脳を刺激し、知能や情緒の發達をうながしますから、乳幼児時期の悪い歯ならびはこうした發達をおくらせることもあります。

歯ならびが悪くならないように、虫歯には充分気をつけましょう。



知識 ② がん

人間の体力は二十歳を過ぎたあたりから下降線をたどりはじめます。加齢とともに病氣への抵抗力もおとろえてきます。三十歳代に入ったら成人病にべをつけないければなりません。がんが急増する年齢は、子宮がん、乳がんが三十〜三十五歳、胃がん、肝臓がん、直腸がんが四十歳代、肺がんが五十歳代、前立腺がんが六十歳代以上です。これらが「高危険群」とされ、とくに検診が必要な時代です。とりわけ女性の場合は、三十歳代に入ったら注意が必要。すすんで検診を受けましょう。

前立腺がん
60歳代以上



肺がん
50歳代



高

危険

群

六十年町内
ガン死亡者
二十二人

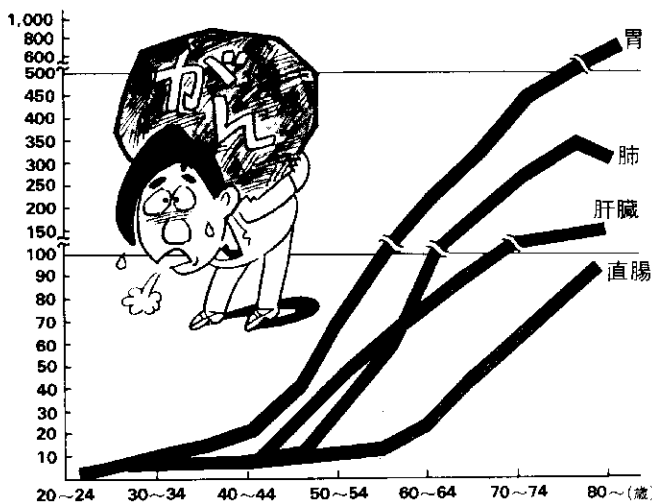
胃がん
肝臓がん
直腸がん
40歳代



子宮がん、乳がん
30〜35歳



年齢別部位別死亡率(人口10万対)



昭和59年 厚生省「人口動態統計」より

男

胃がん

肺がん

肝臓がん

直腸がん

母子保健推進員

さんをご存知ですか

おめでたの時、赤ちゃんがすくすく育っていく時、検診や学級のお知らせを持ってやってくるあの人ですよ。そうです、通称「母推さん」です。

〔母子保健推進員とは〕

妊産婦や乳幼児を対象に、町が行う検診、学級への参加の呼びかけをしたり、皆さんからの相談にものっています。

母推さんは、町で行う年二回の研修会、上越や新潟の研修会に出たりし、いろいろ勉強されています。そして、家庭と役場を結ぶパイプ役をさせていただいていますから、いつでも気軽に声をかけてください。

母推さんへの相談は、妊産婦や子供に関することに限らず、「父ちゃんの具合が悪くて心配だ」とか、「母ちゃんが調子悪い」とか、「結婚して何年も経つのに子供が授からないがどうしたもんか」など、なんでもよいのです。顔見知りの母推さんを通じて、町保健婦への相談も、より気軽にできることもありますので、秘密は守られていますので、安心してご相談ください。



両親——最後のトリデ

中学生年齢は、悩み多き年代、心身の成長過程の中で、いちばん難しい時期にあるといえます。『大ども』あるいは『小どな』などといわれるように、肉体的に

も精神的にも子供から大人への、いわゆる移行期にあります。小学生時代の『児童の心』を残しながら、一方で大人としての意識を持ち始める——アンバランスな状態が目立つ年齢です。具体的には、思春期といわれる第二反抗期の真っただ中であって、進学・就職という進路問題で自己決定をせまられます。

親の目から見ると、学校の勉強はアツという間に片付けて、あとはマンガを読みテレビにかじりついて、何となく頼りなく思えるかもしれません。チャラチャラと底の浅い生き方をしていると映るかもしれません。しかし、心の中では、自らの課題に直面し、それぞれに悩みを抱えていることが圧倒的に多いのです。

ご両親の中には、今まで特に問題もなく順調に育ってきたのだから悩みなどないはずと高をくくっている方もおられるようです。でも、順調に育ったからこそ、一人の人間としての目覚めが、新たな悩みを生んでいるともいえるのです。親が考える以上に純粋に物事を見ています。大人の社会は、言わばホンネとタテマエを上手に使い分けることで動いている面があります。ところが、中学生は、よりホン

ネの部分で反応します。妥協を許さない一途な考え方に立てば立つほど、大人の世界との摩擦も大きく、それだけ悩みも深くなるのです。

■反抗を受け止めるだけの心の広がり
わが子が具体的な問題で悩んでいるとき、親はそれを読み取れるかどうか、そして心に響く口のきき方、励まし方ができるかどうか、極めて重要です。といって、ふだん全身全霊を傾けて子供のことを考えてほしいというのではありません。子供が反抗的な態度に出たとき、どう受けとめるか——親の

度量が問われるときです。ふだん使ったことのない乱暴な言葉遣いで子供が反抗してきたとき、こちらでも感情で受けてそのまま返すと、そのやりとりだけが異様にふくらんで、どんどん違う方向に話が行ってしまうことがあります。そうならないためには、その反抗を素直に受けとめてやるくらいの心の広がりを持ち続けたいものです。

昭和61年度松代町母子保健推進員名簿

部 落	世帯主	氏 名	屋 号	電話番号
松 代	嵩 一	高 橋 笑 中	屋	7-3618
"	改 太	樋 口 サカエ	和 太 郎	7-2318
小荒戸	喜太郎	高 橋 ハルエ	中やしき	7-2874
太 平	賢太郎	市 川 チ イ	う ら	7-2981
菅 刈	十 郎	相 沢 ケ イ	な か	7-2849
田 沢	卯 吉	高 橋 ハル子	万 蔵	7-2827
池之畑	新一郎	山 賀 千恵子	こうじや	7-3788
下 山	正 広	宮 沢 マ キ	な か や	7-3823
千 年	力	高 橋 洋 子	さじべい	7-2625
池 尻	辰 男	室 岡 一 恵	大 家	7-2574
会 沢	幸 吉	五十嵐 恵美子	出 中	7-3701
清 水	均	中 村 正 子	そうべい	7-3748
蓬 平	芳 郎	若 井 いさ子	う ら	7-3684
東 山	幸一郎	山 岸 ユ リ	な か	7-3859
犬 伏	達三郎	柳 繁 子	かんねん	7-2951
孟 地	一 郎	若 月 テル子	こうじや	7-2449
芋 島	良 夫	柳 貞 子	やすいん	7-2440
田野倉	克 巳	池 田 きみ子	長 ぜ ん	7-3264
仙 納	茂 八	室 岡 和 代	宮ノ脇	7-3017
蒔 平	征 弘	池 田 敏 枝	よしいん	7-3040
小 貫	栄 次	柳 美代子	いんきょ	7-3068
寺 田	理 助	井 上 ト シ	中 屋	7-3248
浦 生	喜 一	小 堺 幸 子	ラジオ店	7-2175
儀 明	仁一郎	中 村 洋 子	大 西	7-3402
福 島	弘	西 潟 都伊子	か み	8-2062
室 野	栄 市	佐 藤 幸 子	よそうじ	8-2656
"	厚 権	関 谷 美 子	ともせん	8-2633
峠	巖	牧 田 敏 子	北 方	8-2536
木和田原	牛 蔵	石 野 あい子	谷	8-2027

■非行への瀬戸際で、問われる親の子育ての姿勢
子供が、非行に向かうか踏みとどまれるかの一つのキー・ポイントとは、瀬戸際に立たされた時、親の顔がチラッと浮かぶかどうかです。周囲が自分のことをいつも温かい目で見ていくられる、という思いが子供にあれば、それが非行に対するブレーキとなっていくます。親ばかりではありません。友達や先輩など子供をとりまく人間関係、つまり「応援団」がどれだけいるか、そして、彼らの助言、励ましを受け入れるだけの心の広がりを持つているかどうかにかかっているのです。それは「自分が好き」「人間が信じられる」という気持ちを持つていう、子供を育てたかどうかという親の姿勢が問われることを意味しています。

松代町造林組合

設立10周年を迎えて 設立10周年式典



第十回昭和六十一年度松代町造林組合総会並びに設立十周年記念式典が、去る五月十七日役場第一会議室で松代町長並びに上越林業事務所羽深課長を迎え開催されました。

町造林組合は森林組合に代る組織であり、現在組合員百五名で組織されています。

総会において昭和六十年度事業実績(新植十五ha、保育二百二十ha、作業路五百m、事業費二千六百万円)並びに決算が承認され、続いて六十一年度事業計画が可決されました。

計画では新植十四ha、作業路二百m、下刈、除間伐等保育百六十四ha、事業費二千五百万円

が決定されました。

引き続き開催された松代町造林組合設立十周年式典では、長命寺、矢代午三、市川明治、樋口克己の方々が造林推進功労者として、松代町長より感謝状が贈呈され、また造林組合労務班員十三名が永年勤続表彰を受章しました。

組合では設立十周年記念事業として、松代町が本年度に実施する水道山公園整備事業施工に労務を無償奉仕することになり、目録を町長に贈呈した。

植林、林の手入れは

松代町造林組合へ

町では、植林により広く造林の普及をはかり、あわせて治山・治水に役立つため収益を分け合う目的とする部落有・個人有の山林に閉地(三〜十ha)の造林事業を進めております。

貴重な土地を有効に活用するためにも、あなたの山林、部落の山林に木を植えましょう。

造林には補助制度があります。閉地造林、造林組合への申込等と合せて役場産業課林業係までご相談下さい。

良質木を育成するには保育(下刈・抜打・除間伐等)が大切です。今一度村を見て手入れをしましょう。

造林種別事業費及び補助金(1町歩当り)

(昭和60年秋植実績)

1. 造林

単位：千円

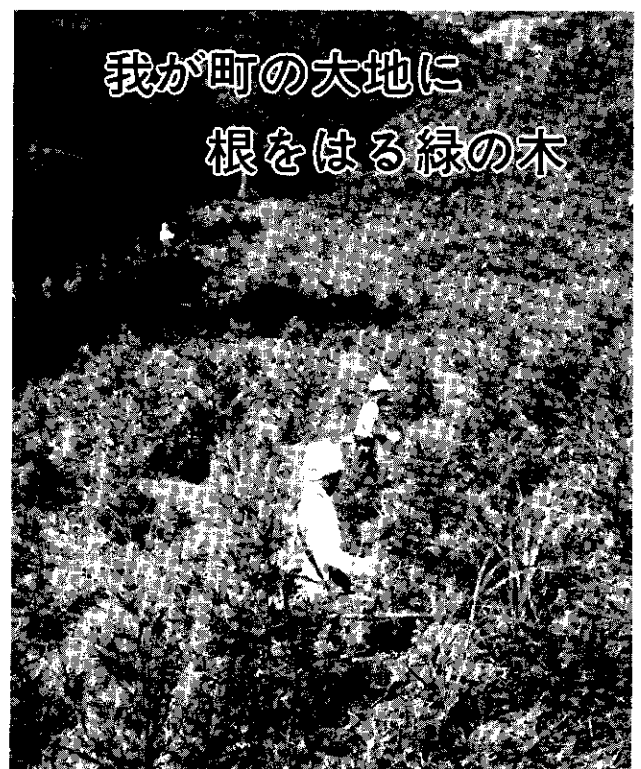
	造林者		林転	原野A	原野B	水田
杉 2,500本 植	個人	事業費				
		補助金	300	220	175	229
	造林組合 委託	事業費	770	600	490	620
		補助金	466	360	299	371

2. 保育

単位：円

事業種	林令	事業費	補助金
根踏	2年日	20,000	
雪起し	6〜10年	90,000	48,000
下刈	2〜6年	50,000	22,000
枝打	11〜15年	65,000	33,000
除間伐	11〜30年	50,000	23,000

我が町の大地に
根をはる緑の木



まつだいに来て！

(県立松代病院勤務の看護婦さん)

風間 ゆかり



(五泉市出身)

3月20日に県立病院の勤務地が、発表された。自宅に電話がかかってきて「松代病院の勤務がきまりました」と言われた時は、あ？松代病院と言われ松代がどこにあるかわからなかったし聞いたこともなかった。さっそく地図を出してさがしてみると松代は自宅からずいぶん遠くにあった。正直言って松代病院にきまった時は、不安とショックが、大きかった。やはりだれも知らない人ばかりで知らない土地に行くことは、本当に不安だった。3月31日に初めて松代に来て第一印象は、雪が多いなあと思った。来たばかりの時は、やはりさみしかったが、徐々に慣れてくるとこの地域の人間性のあたたかさが、しみじみ感じ

れた。またそのために病院にもすぐに慣れることができたと思う。もし県立病院に就職しなかったら松代という地域も知らなかったし松代という所にも来ることはなかったと思う。今回の勤務が松代病院にきまったのも何かの縁だったと思う。この縁を大事にして、この地域の住民の健康保持・増進に少しでも役立てるようにがんばっていきたいと思う。

菅井 岳美



(新潟市出身)

私が松代に来て早いもので、もう二ヶ月が過ぎようとしています。私も看護婦になって、五年目、何でも挑戦してみることの好きな私は、昨年十月、県立病院の試験を受けてみました。合格した時の嬉しさ、そして、松代病院に勤務が決定した時の

不安、一生、忘れることの出来ない出来事でした。

松代町——私の全々知らない土地、知らない人達、期待というよりは不安が大きく、これまでの生活を捨てて、新しい所に行くことが、本当に良い結果としてでるのか、何日も悩み暮しました。でも何事も経験、どんな所か行ってみようと思い松代病院に来てみました。私が今まで住んでいた所は新潟市、住む環境が、あまりにも違いすぎて実家まで遠すぎて、同じ新潟県なのにも思ふことも沢山ありますが、松代の人達の暖かさ、親切さには、びっくりしています。この年になってホームシックもおかしいですが、ホームシックにもかからず、毎日楽しく過しています。皆様の、すばらしい人間性には、本当に感謝しております。

私は今、二十何才、色々なことへの挑戦・冒険、そして沢山の人の出会いが大好きな人間です。ここで学べることを大切に、優しさあふれる人間として生きていきたいと思っています。

交通災害共済

加入93・3%

見舞金の請求はお早めに

年額三百五十円の安い会費であなたを保障する新潟県交通災害共済の六十一年度一斉加入申し込みがみなさんのご協力により、三月末日でまとまりました。

今年の加入者数は五千五百三十八人で、加入率は九十三・三%となり、昨年より〇・四%高い成績をあげさせていただきました。

●まだ申し込みを
されていない方は：

いつでも加入できますので、役場総務課へ申し込みください。

見舞金の支払いは こんなときに……

- ・自動車、バイク、自転車など運行中に伴う人身事故で、入院・通院の実治療日数七日以上の場合。
- ・車にはねられたり、ひかれたりした事故で、入院・通院の実治療日数七日以上の場合。

●見舞金の額は…… 百万円
●死亡(一等級) 百万円

・負傷(二等級・九等級) 七十万円・二万円

※ただし、飲酒運転、無免許、スピード違反など、故意や重大な過失による事故の見舞金は支払われません。交通事故にあつたら自損事故の場合でも、必ず警察に届け出てください。

見舞金請求手続きは 事故発生から一年以内に

見舞金の請求は、交通事故が発生してから一年以内になっています。一年を経過した場合は請求できなくなりますから、請求手続きは全治した時点で、すみやかに行ってください。

●必要書類は……

- ①見舞金請求書、②医師の診断書(指定用紙)、③交通事故証明書、④事故発生状況報告書、⑤免許証の写し、⑥会員証、⑦印鑑

※詳しくは、役場総務課へお尋ねください。

松代町公認スポーツ指導員派遣要項



3、派遣希望の申し込みは
総合体育館・六七―三七五二
へ。

2、派遣とは
運動・スポーツを目的に集ま
った仲間や部落・職場、グルー
プ・子ども会等広く町内に存在
するグループへ派遣します。

1、派遣の主旨
運動・スポーツをやりたいが
指導者がいない。また、初心者
ばかりで技術の向上が望めない
さらに技術を高めたいと考えて
いる人たち。仲間や部落・職場
で運動やレクリエーション活動
をしたいが指導者がいない。「講
習会」や「スポーツ教室」をや
りたいが指導者がいない。そん
なとき、町民の要請に応え運動・
スポーツの振興をより高めるた
めに指導者を派遣するという制
度です。

松代町公認スポーツ指導員登録名簿

氏 名	年齢	現住所	電 話
高 橋 徳	54	松 代	7-2 5 8 6
関 谷 八 郎	50	松 代	7-2 1 6 0
関 谷 松 雄	47	松 代	7-2 0 6 1
鈴 木 幸紀代	46	松 代	7-2 5 7 5
村 山 達 三	42	松 代	7-2 2 5 4
小 松 和 夫	40	室 野	8-2 4 1 5
関 谷 昭 栄	38	松 代	7-2 2 4 6
柳 和 家	38	太 平	7-2 9 9 0
高 橋 博	35	田 沢	7-2 8 2 9
市 川 健 司	32	田 沢	7-2 8 1 4
戸 田 一 弘	28	松 代	7-2 5 5 5
高 橋 祥 郎	27	千 年	7-3 5 7 2
高 橋 春 生	25	松 代	7-2 5 5 5
石 口 博 雄	37	松 代	7-3 4 7 5

4、指導者の経費等
指導者の報酬、旅費等必要な
経費は、依頼した団体が負担す
るものとする。その他必要な事
項は、両者で協議し決定するも
のとする。
※本年度は、普及段階ですの
で無料です。



町民のみなさんが運動・スポーツを通じて
文明病を克服していかなければならないと
考えこの制度を確立しました。
みなさまの、健康・体力づくりに大いに
活用ください。

期 日 昭和61年6月29日
(第5日曜日)
会 場 松代町総合体育館
種 目 9人制バレーボール
(女性1名以上含めること)
参加資格 協会に登録してあるチーム
(登録してないチームは、
参加料 2,000円を納めると
出場できます。)
申込み期限 6月13日(金)
申込み先 松代町役場
総務課・石口



今日も
今夜も

防災
シリーズ ④⑧

火の用心

地震の心得

地震は、いつ起こるかわかりません。そこに地震のもつこわさがあるのですが、もう一步踏み込んで考えれば、これは今後必ず大きな地震がやってくることを意味しています。事実大きな被害を生んだ関東大地震以来数回マグニチュード7以上の地震が発生しています。それらの発生をくい止めることはできないにしても、被害を最小限にとどめることは私たち一人ひとりの責務といっても過言ではありません。地震時にあわてず落ち着いてまず身の安全をすべてに優先させ行動しましょう。

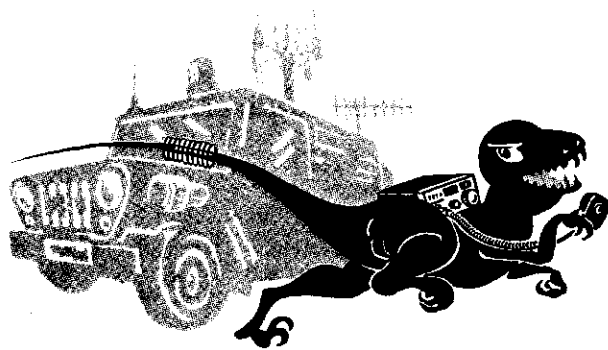
1. まずわが身の安全を守れ。
2. すばやく火の始末。
3. 非常脱出口を確保する。
4. 火が出たらまず消火。
5. あわてて戸外に飛び出さな。
6. 狭い路地、堀ぎわ、崖や川べりに近寄らない。
7. 山崩れ、崖崩れに注意する。
8. 避難は徒歩で、持ち物は最小限度にする。
9. みんなが協力し合って応急保護。
10. 正しい情報をつかみ、余震を恐れるな。

※主な大地震(Mはマグニチュード)

M7.9 関東大地震（大正12年9月）
M7.5 新潟地震（昭和39年6月）
M7.8 十勝沖地震（昭和43年5月）
M7.4 宮城県沖地震（昭和53年6月）
M7.7 日本海中部地震（昭和58年5月）



追放しよう！ 不法電波



電波法違反防止旬間 6月1日～10日

○現在、テレビ、ラジオの受信や警察無線、消防無線、防災行政用無線など国民の生命、財産を守るために重要な役割を果たしている無線通信に種々の電波妨害が発生しています。

○これらの電波妨害の多くは、郵政大臣の免許を受けていない無線局、すなわち不法無線局から発射される不法電波によるものです。

〔郵政省〕

おわび

四月号八面のみだし「元気がでる空気」は「元気がでる空手」が正しいので訂正しておわびします。

部落紹介シリーズは今回都合により休ませていただきます。



戸籍の窓口

四月受付分

幸せ多い人生を（結婚）

相澤 勇・高橋美由起
（太平・兵左エ門）

柳 誠一・山本ミイ子
（犬伏・紺屋）

鈴木清彦・室岡央子
（松代・清屋）

佐藤利雄・佐藤真由美
（竹所・宮ノ下）

げんきなよい子に（誕生）

小堺のぞみ 父政吉 母京子
（長女・蓬平・下駄屋）

富澤えみ 父栄一 母とみ子
（長女・小荒戸・市えん）

高橋 梓 父洋一 母佳洋子
（長女・千年・香貝）

西片正則 父武男 母則子
（長男・菅刈・田端）

ご冥福を祈ります（死亡）

関谷タマ 64歳 松代 ぎぜん
小島文雄 28歳 犬伏 万吉



文芸



薫風

小堺 耕山

かたかこの零に朝陽至りけり
薫風に青竹売りや声のせて
来る係を待ちて掲げる鯉のぼり
斑雪嶺にひびけと祭太鼓打つ
種案山子手にみせしめの羽吊す

雪柳

西潟 炳史

樵芽吹くこともなれず雪固し
倉に出し小さき小豆葉戴けり
雪柳雪に埋れて水光る
雪の池芽ばり柳の辛うじて
ペランダの木芽ひたひた芽吹
きおり

彼岸

佐藤 紅茶

彼岸入り墓の真上に雪の塔
春総会役員人事おだやかに
岸の雪大きく割れて崩れけり
雪消え間土の香のたつ日向かな
指数え二人の翁彼岸待つ

しぶみ句会

分校は男一人の入学児
割り始む苗代いまだ雪五尺

六花

独り居のまことに長き春日かな
通り来し古城の桜いま見頃
八千代
隙間よりたちまち積もる春霞
縁談の話整う春炬燵

立石

雪の門くぐりて分校始業式
ハレー飛ぶ見えずともよし春の
宵
春の川農道吊橋かけ終える
露味噌のながきを好む年となり

公明

山着をば妻は縫いつつ春を待つ
雪丈余彼岸迎える墓地の土

去水

緑側にスキー靴下し冬終わる
親子連れ新車並べる春隣

呂弘

山笑い山又しばむ彼岸荒れ
風澄みて枝影ゆれし春の土

草人

雪消して顔も日にやけ春日和
豪雪で地すべりありて道とだえ

美根

濁流にさからい芽ぶく猫柳
雪代のさかまく様や澁海川

しげ女

春日和雪に大きく鳶の影
耕せば土に初蝶来て止まる

一元

黒き路春の霞がころがれり
時ならぬ嵐に雪花舞いみだれ

喜沙

従弟急逝

なぜ急ぐ花の便りも届かぬに
匂い消しに午夢を入れて狸汁

淡水

前壁の大雪崩して山目覚む
校門に付ちふりかえる卒業子

枯水

屋根雪崩牛は悠々反芻す
春浅し眼鏡くもりしラーメン屋

悠歩

蒲生句会

荒物を買う町の角初つばめ
思案せる間に木牡丹の買われゆ

ふさ女

種浸し水面に光るおぼろ月
苗代の床ならしつつ決する

耕人

雪解川根ごとの雑木流れおり
すじ蒔きを終えて安堵の腰を延

爽風

頬白や消え間にのぞく杉の秀に
苗代田たにしの曳きし道五寸

鐵堂

惜しまれつ路に舞い散る花吹雪
職長の太腕酌す花見宴

紫煙

朝寒や妻と二人の春炬燵
ゴールデンウィーク車の集う過

折人

蒼穹を掩いし花影満身に
帰省子にうるむ村の灯雪解鶴

竜峰

園芸一口メモ

松代園芸愛好会

実物盆栽について

野や山には実がなる木がたく
さんあります。太占、私達の祖
先が胸をときめかせて木の実を
とった、その夢がよみがえるの
でしょうか、木の实というもの
は私たちにふしぎな興奮を起こ
させます。晩秋落ち残ったよう
にぼつんと一個、二個、ほとん
ど葉を落とした枝先にしがみつ
いて夕日に光っているカキの実、
淡黄色をした香りの高い大きな
実を青空にさし出しているカリ

この実物盆栽用の樹としてよ
く取りあげているのは、カリン・
ウメ・モドキ・マユミ・カキ・ヒ
メリンゴ・ベニシタン・ピラカ
ンサなどです。

実も花と同じように樹種によ
り千差万別ですが、このように
とりどりの実の美しさと、樹の
形のおもしろさとのとりあわせ、
根張り、鉢と盆栽との映りあい、
そうしたことを念頭において鑑
賞して下さい。

